

<参考図>



ビデオ1
クビナガギボシムシが砂を食べている様子
(提供：Chris Lowe)



写真1 ヒメギボシムシ
(写真提供：田川訓史)



写真2 クビナガギボシムシ
(写真提供：John Gerhart)

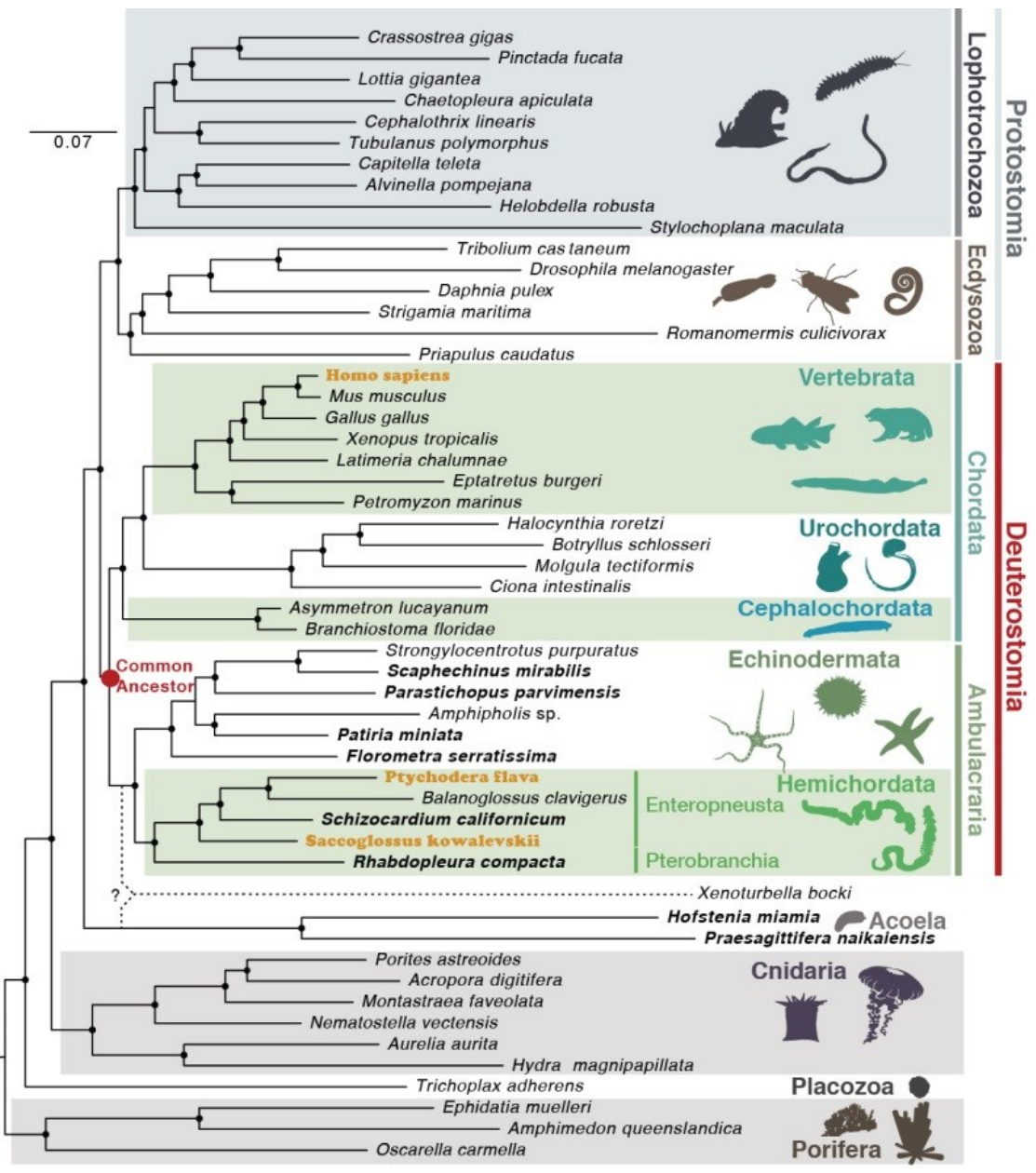


図1 進化図

ヒトは (*Homo sapiens*) は、新口動物 (Deuterostomia) の祖先、脊索動物 (Chordata) の祖先、脊椎動物 (*Vetebrata*) の祖先、哺乳類の祖先を通して進化してきた。脊索動物に近縁な動物群としてウニやヒトデなどの棘皮動物 (Echinodermata)、ギボシムシなどの半索動物 (Hemichordata) がある。棘皮動物と半索動物は発生様式の類似性などから歩帯動物 (Ambulacraria) と呼ぶ。

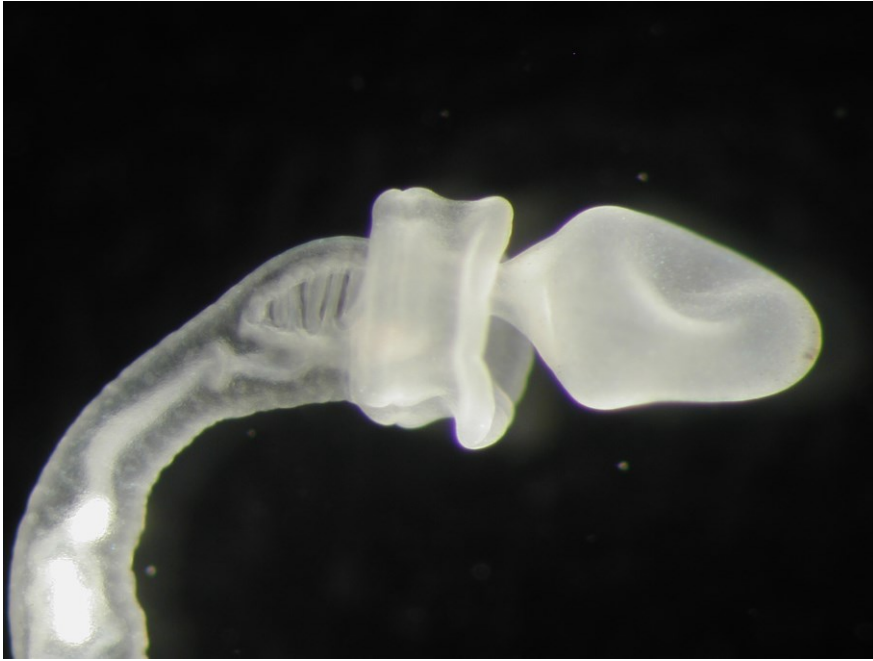


写真3 ヒメギボシムシ変態後14日。形態的に際立った鰓部がよく分かる。
(写真提供：田川訓史)



写真4
クビナガギボシムシ幼体。成体の鰓になる領域が青色の染色によって示されている。
(写真提供: Andrew Gillis)



写真5 本研究に携わった広島大学 田川訓史准教授。
(写真提供：田川訓史)